

## 2. 子どもの健康と安全



### Q9 学校をお休み(遅刻)する時は？

**A** 欠席届を兄弟や近所の子に持たせるようになっていますが、急な場合はFAXでも大丈夫です。8時20分までに連絡するのがルールです。電話は、できるだけご遠慮ください。大変混み合ってしまうます。

先生方は、朝の健康観察で教室にいない子がいると必ず確認をとるそうです。その時に居ない子がいると理由をチェックし不明の場合は、すぐに家庭に連絡を取りますが、そのために教室は一時の間、自習になることもあるのです。これは他のお子さんにはデメリットです。

さらに、連絡がつかないと職員室から教頭先生、主幹先生、児童指導の先生方が家庭訪問に出発するそうです。「もしも・・・」の場合を考えてのことですが、連絡さえすれば起きないことですから、お子さんの世話やお仕事で忙しいでしょうが必ず連絡しましょう。

遠足や宿泊学習当日に欠席の場合は決められた時間に電話で直に伝えるのがルールです。(出発できませんからね。)

### Q10 早退するときは親が迎えに行かなくてはならない？

**A** 何が起きるかわからないのが子どもです。家族が迎えに行くのが間違いありません。学校からは「お迎えをお願いします」という連絡が必ず来ます。

学校では体温が37度を超えて、給食が食べられなかったり授業に参加できない場合、通院が必要なケガの場合、養護の先生が出張の時などは保護者への連絡をするそうです。なお、子どもが一番かわいそうなのは連絡がつかないときだそうです。

- ・保健室で暗くなるまで待っていた(その後校長室のソファにいた例)。
- ・ケガが心配なのだが、保護者の希望する救急病院がわからない例。

【保健室(養護教諭)直通電話】 080-1000-4540

### Q11 熱中症の子どもを見つけたら？

#### **A** 現場でできる手当

- ◎ 意識がなかったり急に体温が上がったら、ためらわず救急車
- 涼しい場所に移して衣服を緩めてリラックス
- 首筋、脇の下、足の付け根を冷やす。
- 顔が赤いときは頭を高く、顔が青白ければ足を高くしてねかせる。
- 意識があって、吐き気がなければ水分補給させる。
- 皮膚が熱ければ風を送ったり、ぬれタオルで冷やす。
- 皮膚が冷たければ絞ったタオルで冷たい部分をマッサージする。

御厨小の予防対策を聞いてみたら以下のようなものでした。

- ☆温度と湿度を測定し警報を発する「熱中症センサー」を複数配置しモニターしている
- ☆センサーの警報レベルに応じて運動禁止や活動の停止、飲水の指示などの措置を校内放送で指示している
- ☆学校行事(運動会等)の時季変更など気候の変化に応じた教育課程を計画している。



## Q12

# 大災害が起きたら…と、子どもが心配



## A 大災害は想定外の連続

防災研修会に参加させていたので、その報告を書きます。

「釜石の奇跡」(東日本大震災での小中学生生存率99.8%)を支えた群馬大学の片田敏幸先生の講演でした。そのレジメからです。

- 子どもと保護者の信頼関係と地域の人との連携なくして子どもの命は守れない。  
(子どもは1年の1/5しか学校で生活しない。4/5の時間は家庭と地域で過ごす。)
- 学校は子どもの命を守ることに専念することへの信頼関係に全力をつくす。  
引き渡しは、災害が落ち着いた状況になってから。
- 想定にとらわれない。想定を上回る事態も当然あり得ることをいつも頭に置く。
- 最善を尽くせ！そのときできる最善の行動をとれる判断力を身につける訓練を。

大災害の時は**親は～のように動く。あなたは～のように動く**、という話し合いを家庭で繰り返してください

## Q13

# 突然の雷雨。こんな時の親子は、どう対応したら？

**A** 「突然」というのが難しいですね。学校にいる間は学校が帰宅させないようにしてくれますが、帰宅途中で寄り道をしていたり休みの日もありますからね。家庭の事情により決定的な方法は難しいので一般的なことをまとめてみました。

- (1) 日頃から緊急避難を子どもに教えておく
  - ・友達や近くの家での雨宿りの方法やマナー
  - ・保護者へ「どこで・だれと・どうしている」を連絡すること
  - ・雨が弱くなっても用水路には絶対に近づかないこと
- (2) 学校からのメールを確認する
  - ・学校は発信してくれると思います。メールを待ちましょう。
  - ・児童数の多い学校ですから、問い合わせはつながらない場合が多く、要注意。
- (3) 土砂降りの中を車で学校へ行ってもパニックになります。
  - ・校庭は海、玄関前は渋滞です。呼び出しても子どもはなかなか出てきません。
  - ・路上駐車しても車に着く前にびしょぬれです。
- (4) よその子を雨宿りさせてあげる
  - ・相手の保護者(不在の時は学校)へ連絡をしてあげましょう。



## Q14

# 不審者の出没が心配です

## A 被害に遭わないための5つの約束

- ① 一人で遊ばない
- ② 知らない人について行かない
- ③ 連れて行かれそうになったら大声を出して逃げる(近所の人に逃げ込む)
- ④ 「だれ」と「どこ」で遊ぶか、「いつ帰る」のかを言ってから出かける
- ⑤ 友だちが連れて行かれそうになったら、すぐに大人に知らせる



危険な出来事は、いつ起きるか予測できません。いつも心にとめておくことで、いざというときに対応できると思います。

## Q15 不審人物を見かけたら、どう連絡するの？

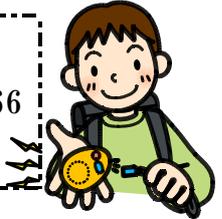
**A** 警察署と御厨小学校の両方へ通報することです。

- ① 学校は、授業時間なら全校の子どもに注意するよう指導してくれます。また、学区の中での時は緊急メールが発信されます。
- ② 警察は全市に情報を流しパトロールを強化してくれます。

どちらも通報者のプライバシーは保護するよう配慮してくれます。子どもから不審者の話があったら、すぐに警察に連絡しましょう。不審者が近くにいるかもしれません。次の日に学校に連絡では間に合いません。でも、一番大切なのは日頃から不審者対策を子どもに指導しておくことでしょう。



警察 110  
足利署 43-0110 堀込町交番 71-8166  
御厨小学校 71-2303



## Q16 不審電話って本当にあるのですか？

**A** 「もしもし、隣の学級の〇〇の母ですが……」夏休み中に、本校児童宅に隣の学級児童の母を名乗る者からPTAの学年行事の事で連絡したいと訳を話し、当該児童学級の児童名と電話番号を聞き出そうとしたり、宅配業者を名乗り電話番号を聞き出そうとする、非常に巧妙な**不審電話がありました**。

毎年同じような時期に同様な不審電話がありました。どうぞ被害にあわないようくれぐれもご注意ください。学校やPTAがお友達の電話番号を尋ねることはありません。

- ① 学校や各団体の名簿等は、児童の安全を守るために配布しているものですが、個人情報ですので保護者の管理をお願いします。「学校で聞いて下さい。」と対応してください。
- ② 不審電話との混同を避けるため保護者自身が電話で児童に電話番号を聞くことのないようお願いします。
- ③ 不要になった連絡網は、はさみで細かく切って廃棄してください。
- ④ 土、日曜日など学校と連絡が取れない場合は、学級担任に連絡してください。



## Q17 災害共済給付制度ってなんのこと？

子どもがケガをしたときの保障は？

**A** 「独立行政法人・日本スポーツ振興センター・災害給付制度」

4月に申し込む、わずかな掛け金で学校での事故限定で対応する、国が主体の保険だと思って下さい。学校でケガをしたとき(交通事故を除く)に、病院で支払う金額をカバーしてくれます。学校には、この制度以外の傷害保険はありませんから、必ず入会します。手続きは、養護の先生が中心に進めてくれますから、相談しましょう。



**Q18**

## 子どもでも、責任を問われたり 補導されたいってあるんですか？

### **A** 子どもは、被害者だけでなく加害者にもなります

いろいろな場面が考えられますが、特に本校地区で怖いのは、次のようなことです。

ここにあげた例以外にも、こどもが加害者になるパターンはありそうです。「子どものやったことだから」では許されない場合も状況によっては生じます。当然、**保護者の監督責任**が問われます。

- 自転車の乱暴な運転…歩道を歩くお年寄りや小さい子に衝突したり、転倒させたりすると、立派な道路交通法の違反行為です。
- 線路での遊び…列車を止めたり、置き石などで転覆させたりしたら一大事。
- 石投げ……………人に当てたら傷害ですが、走っている車のガラスや車体、他人の物にぶつければ器物損壊。
- 火遊び……………火事にするつもりはなくても、燃やしてしまったら！
- 万引き……………立派な窃盗罪です。今は、警察に通報されます。
- エアガンや弓矢……………目に当たったら失明です。当然加害者になります。
- いたずら電話やメール……………人権侵害や脅迫や迷惑条例につながりかねません。